



有中だより

進級・入学おめでとうございます

4月6日（火）に始業式を行い、3年生68名、2年生66名が新学年に進級しました。そして、昨日の4月7日（水）新入生61名を迎え、全校生徒195名で令和3年度の有家中学校がスタートしました。

始業式では、「春風や 闘志いだきて 丘に立つ」という句を紹介し、新年度の初めに新たな目標を立ててほしいという話をしました。また、入学式では、校訓の基で、有家中学校の生徒であるという誇りをもって生活してほしいということ、具体的には「深く学べ!」「自らを鍛えろ!」「志を持って!」という学校スローガンを目指して生活してほしいという話をしました。

これから1年間、195名の生徒が「生きる力」を育むことができるよう、以下の方針・目標等を基に、有家中学校職員一同頑張っていきますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。

<教育方針> ○ 校訓

相共に 自ら伸びる 有中生

○ 学校教育目標

心豊かで、心身ともにたくましく生きる生徒の育成

○ 学校スローガン（情報を伝達する短いフレーズ）

深く学べ! 自らを鍛えろ! 志を持って!



令和3年度 南島原市立有家中学校職員

学年・職名等	氏名	備考	学年・職名等	氏名	備考
校長	谷口 誠志		3年	教諭	高原 靖雄 学年主任（副担任）
教頭	入江 司			教諭	下田 洋介 3年1組担任
1年	教諭	高木 勝也 学年主任（副担任）		教諭	最上佳奈子 3年2組担任
	教諭	小嶋ひかり 1年1組担任		教諭	松島 紅美 1・3年3組担任
	教諭	山口 直起 1年2組担任		教諭	荒木 美香 進路指導主事（副担任）
教諭	安達 昌浩 1年4組担任	用務員	中山 善洋		
教諭	鶴田 賢治 教務主任（副担任）	特別支援教育助手	本村穂寿美		
2年	教諭	岡本 愛子 学年主任（副担任）	特別支援教育助手	金子 由美	
	教諭	堀田 拓郎 2年1組担任	特別支援教育助手	高橋 康代	
	教諭	下田 桃子 2年2組担任	学校支援員	吉田 明美 午前中勤務	
	教諭	小嶺 正明 午前中勤務（副担任）	心の教室相談員	岩本千賀子 月・水・木・金勤務	
養護教諭	中村 由美		カウンセラー	中村 幸村 火曜日勤務	
事務主幹	松崎 健児		A L T	Wong Patrick 月・木曜日勤務	
事務職員	田中 牧子		A L T	Peralta Isela 水曜日勤務	
初任者指導教諭	渡部 学	水曜日勤務			

～校則を見直しました～

校則については、全国的にも人権に配慮した見直しを求める動きが出ており、「ブラック校則」などマスコミ等でも取り上げられています。

そこで、本校においても見直しを行いました。詳細については、後日生徒に確認・指導しますが、その主な内容について紹介します。

<削除>

- ・町外への外出は、保護者の責任のもとで行う。
- ・用がないときの商業施設への出入りはしない。
- ・友人の家に遊びに行くときは、訪問時間、言葉、礼儀作法に注意する。
- ・手紙・電話・訪問等は相手の立場を考えて行う。
- ・男子のそり込みなど流行を追う髪型はしない。

<変更>

- ・前髪は、眉にかからないようにする。
⇒前髪は、目にかからないようにする。
- ・下着は白色のものを着用する。
⇒下着は、単色で派手でないものを着用する。
- ・靴下は白地のスクールソックスとする。長さは、かかとから 15cm 以上とする。
⇒靴下は白地のものでワンポイントまで可とし、アンクルソックスは不可とする。
- ・名札は学校指定のものを身につける。
⇒名札は校外では着用しない。

4月の行事予定

1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	着任式・始業式
7	水	入学式 ノ一部活動
8	木	集団訓練・自転車点検
9	金	部活動紹介・歓迎遠足(給食なし)
10	土	
11	日	
12	月	実力テスト(2・3年) 身体測定(1年)
13	火	実力テスト(全学年) 身体測定(2・3年)
14	水	ノ一部活動
15	木	PTA拡大役員会
16	金	
17	土	
18	日	家庭の日 ノ一部活動
19	月	
20	火	尿検査
21	水	健康診断(3年) ノ一部活動
22	木	
23	金	授業参観・PTA総会
24	土	
25	日	
26	月	健康診断(2年)
27	火	
28	水	健康診断(1年) ノ一部活動
29	木	昭和の日
30	金	心電図検査(1年)

<校長室の窓から>

令和3年度 195名の生徒とともに学校生活を送れることを大変嬉しく思っています。保護者の中には、初めて中学校に入学させ、不安を抱えておられる方もおられると思いますが、中学生という年代は子供から大人になるための過渡期で、自立への挑戦の時期です。体も著しく成長します。義務教育最後の3年間のこの時期は、親に依存してくることが次第に少なくなり、いろいろなことに興味をもって取り組むようになりますが、個人差がとても大きく、反抗や甘えが親の予想もつかない形で現れることもあります。子供は大人になるための大きなハードルを越えるために、もがいている状態です。

親はこの様な時期であることを十分に理解し、子供と共通の話題をもち、親子の会話を増やすことで、我が子の理解を深めてほしいと願っています。

この欄<校長室の窓から>では、子育てについて考えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。